



はじめに

この章では、Cisco Unified Presence Server システムの概要を説明し、Cisco Unified Presence Server がサポートする Cisco Unified IP Phone を一覧で示します。

概要

Cisco Unified Presence Server は、Cisco Unified Communication 環境の価値を最大限に引き出すために不可欠なコンポーネントです。特定の時間に電話機などの通信装置を使用しているかどうかなど、ユーザのアベイラビリティ ステータスに関する情報を収集します。また、Web コラボレーションやテレビ会議が有効かどうかなど、ユーザの通信機能に関する情報も収集します。Cisco Unified Presence Server によって収集されるユーザ情報を使用して、コラボレーション通信の最も効果的な方法を判断することにより、ユーザどうしの効率的な接続を支援するなど、Cisco Unified Personal Communicator や Cisco Unified CallManager などのアプリケーションによる生産性を向上させることができます。

音声通信や IP 通信の製品で構成される Cisco Unified Communication システムは、組織のビジネスプロセスの統合、適切なリソースへのすばやいアクセス、収益性の向上などを図り、組織のより効率的な通信を支援します。Cisco Unified Communication 製品は、Cisco Business Communication ソリューションを代表する重要なコンポーネントです。Cisco Business Communication ソリューションは、ネットワーク インフラストラクチャ、セキュリティ、ネットワーク管理製品、ワイヤレス通信、ライフサイクル サービス アプローチなどを含む、あらゆる規模の組織に対応するソリューションで、柔軟な展開オプションや外注管理オプション、エンドユーザおよびパートナーの財務パッケージ、サードパーティ通信アプリケーションなども備えています。

製品の説明

Cisco Unified Presence Server は、新たな音声サービスを企業環境でサポートするための、Session Initiation Protocol (SIP) テクノロジーを展開するために役立ちます。SIP により、さまざまな機能やサービスに適用できる、セッションの確立および管理に関する一連の主要な動作を提供することで、音声ネットワークが強化されます。Cisco Unified Presence Server では、SIP コアをサポートするだけでなく、SIP for Instant Messaging and Presence Leveraging Extensions (SIMPLE) テクノロジーを採用することで、インスタントメッセージ (IM) とプレゼンスの両方をサポートします。

Cisco Unified Presence Server には、SIP プレゼンス エンジンと SIP プロキシ機能があります。プレゼンス エンジンでは、ユーザのプレゼンス情報 (話し中、アイドル、不在、または応対可能のステータス) だけでなく、ユーザの機能 (音声、画像、IM、Web コラボレーションなどのサポート機能) に関する情報を収集し、ユーザ単位でリポジトリにデータを蓄積します。ユーザが採用するアプリケーションや機能からリポジトリへ個別にアクセスできます。各ユーザが独自のユーザルールおよびプライバシーを適用することで、許可されたアプリケーションおよびユーザだけがプレゼンス情報へアクセスできるようになっています。SIP プロキシ機能により、プレゼンス情報と一般的な SIP メッセージの両方を、企業全体で効率的かつ正確にルーティングできます。

さまざまなデスクトップクライアントやアプリケーションと強力に統合された Cisco Unified Presence Server を使用すると、Cisco のエンタープライズ デスクトップクライアントである Cisco Unified Personal Communicator で、クリック ツー ダイヤルや電話機制御、音声、ビデオ、Web コラボレーションなど、さまざまな機能を実行できます。さらに、Cisco Unified Presence Server では、Cisco Unified CallManager に接続される Cisco Unified IP Phone のコアとなる IM サービスを提供します。また、Cisco Unified Presence Server では、IBM Sametime や Microsoft Office Communicator など、エンタープライズ デスクトップ アプリケーションとの相互運用性もサポートしています。この相互運用性により、Cisco Unified CallManager でサポートされる Cisco Unified IP Phone とともに、これらのデスクトップアプリケーションを運用できます。

機能および利点

この項では、Cisco Unified Presence Server の主な機能と利点について説明します。

標準ベースの SIP/SIMPLE ネットワーク インターフェイス

Cisco Unified Presence Server は、SIP または SIMPLE に対応するアプリケーションおよびネットワークに標準ベースのピアリング環境を提供します。ステータスおよびプレゼンスの共有に IETF 標準を採用することで、事実上、ユーザは Cisco Unified Presence Server に保存されている任意のユーザステータスを要求できます。これらの SIP および SIMPLE 標準では、受信したメッセージを定義することで、ステータスの要求を開始および維持し、適切な応答を提供します。Cisco Unified Presence Server は、展開したサービスのニーズに応じて、ステータス情報を収集および配布できます。

このようなインターフェイスを実装することにより、さまざまな シスコ パートナーとの相互運用の方法を標準化し、Cisco Unified Communication 顧客向けの付加価値サービスを構築できます。

Cisco Unified Personal Communicator のネットワーク インターフェイス

Cisco Unified Presence Server では、Cisco Unified Personal Communicator のコアとなる、ユーザのステータス、機能、個人のルールや設定などを含む、個人データの保存機能をサポートする必要があります。また、Cisco Unified Presence Server では、Cisco Unified Personal Communicator の電話機制御やクリック ツー ダイアル サービスの監視を有効にすることもできます。高度なセキュア環境により、ユーザのパスワードからネットワーク接続情報や個人の連絡先リストまで、さまざまな個人情報の完全性を保証できます。

IP Phone Messenger のネットワーク インターフェイス

Cisco Unified Presence Server に含まれる Cisco IP Phone Messenger サービスは、プレゼンス対応の連絡先リストを完備した IM クライアントを Cisco Unified IP Phone に提供します。また、このサービスのリアルタイム コラボレーション機能により、電話機ユーザが PC から離れていても、他のユーザのプレゼンス ステータスを瞬時にチェックできます。また、簡単なテキスト メッセージを送受信することも可能です。これらのメッセージの多くは、フレーズや完全文のリストから使用できるため、電話機のキーを押して入力する必要がありません。メッセージの受信者は、そのメッセージに直接応答するか、または [ダイアル] ソフトキーを押してコールバックできるため、電話番号を検索したりダイアルしたりする必要がありません。

サポートされている Cisco IP Phone

表 1-1 に、SIP/SCCP プロトコル対応の Cisco Unified Presence Server でサポートされる Cisco IP Phone を示します。

表 1-1 サポートされている Cisco IP Phone

電話機の種類 / モデム	SIP	SCCP
12 SP	NA	No
30 VIP	NA	No
7902	NA	Yes
7910	NA	Yes
7905	No	Yes
7912	No	Yes
7940	No	Yes
7960	No	Yes
7935	NA	Yes
7936	NA	Yes
7920	NA	Yes
7911	Yes	Yes
7941	Yes	Yes
7961	Yes	Yes
7970	Yes	Yes
7971	Yes	Yes
7985 (Ocius)	NA	Yes
Cisco Unified Video Advantage	Yes  (注) CTI ゲートウェイで SIP を使用できる場合に限り「Yes」となります。	Yes
IP Communicator	NA	Yes
Cisco Unified Personal Communicator	No	NA

Cisco Unified Presence Server の管理ページの参照

Cisco Unified Presence Server の管理プログラムには、Web サーバでない PC および Cisco Unified Presence Server がインストールされていない PC からアクセスします。サーバにブラウザ ソフトウェアはありません。サーバの参照に関する詳細は、P.1-5 の「Web ブラウザ」を参照してください。

追加情報

P.1-11 の「関連項目」を参照してください。

Web ブラウザ

Cisco Unified Presence Server の管理ページでは、次の Microsoft Windows オペレーティング システムのブラウザをサポートしています。

- Microsoft Internet Explorer (IE) 6.0 以降
- Netscape 7.2 以降

ネットワーク内のユーザの PC から、Cisco Unified Presence Server の管理ページを実行しているサーバを参照し、管理者権限でログインします。



(注)

多数のユーザが Cisco Unified Presence Server の管理ページへ同時にログインすると、パフォーマンスが低下する場合があります。同時にログインするユーザおよび管理者の数を制限してください。

Cisco Unified Presence Server の管理ページへのログイン

次の手順で Cisco Unified Presence Server の管理ページへログインします。

手順

次の手順でサーバを参照し、Cisco Unified Presence Server の管理ページへログインします。

-
- ステップ 1** 任意のブラウザを起動します。
- ステップ 2** ブラウザのアドレスバーに次の URL を入力します (大文字と小文字は区別されます)。
- https://< サーバ名 >
- < サーバ名 > は、サーバの名前または IP アドレスです。
- ステップ 3** Cisco Unified Presence Server の管理ページへログインするには、**Cisco Unified Presence Server Administration** リンクをクリックします。
- ステップ 4** [セキュリティの警告] ダイアログボックスが表示されます。適切なボタンをクリックします。
- ステップ 5** [ログイン] ウィンドウで、Cisco Unified Presence Server のインストール時に指定したアプリケーション ユーザのパスワードを入力して [送信] をクリックします。
- [Cisco Unified Presence Server の管理] ウィンドウが表示されます。
-



(注) セキュリティ上の目的で、30 分後に Cisco Unified Presence Server の管理ページから自動的にログアウトするため、引き続き使用する場合は再度ログインする必要があります。

追加情報

P.1-11 の「関連項目」を参照してください。

Cisco Unified Presence Server の管理ページからのログオフ

手順

次の手順で Cisco Unified Presence Server の管理ページからログオフします。

- ステップ 1 [Cisco Unified Presence Server の管理] のメインウィンドウで、右上にある [ログオフ] ボタンをクリックします (図 1-1 を参照してください)。
- ステップ 2 [ログイン] ウィンドウが表示されます。

追加情報

P.1-11 の「関連項目」を参照してください。

Hypertext Transfer Protocol Over Secure Sockets Layer (HTTPS)

ブラウザクライアントと Web ブラウザ (Microsoft Windows ユーザの場合) の通信をセキュリティで保護する HTTP over Secure Sockets Layer (SSL) では、証明書と公開鍵を使用して、インターネット上を流れるデータを暗号化します。また、HTTPS では、Web 上でユーザのログインパスワードがセキュリティで保護された状態で送信されます。一部の Cisco Unified CallManager アプリケーションでは HTTPS がサポートされているため、サーバの識別が保証されます。これらのアプリケーションには、Cisco Unified CallManager の管理ページ、Cisco Unified CallManager のサービスアビリティ、Cisco Unified CallManager ユーザ オプション、トレース収集ツール、Real-Time Monitoring Tool (RTMT)、XML (AXL) アプリケーションプログラミングインターフェイスがあります。

自己署名証明書は、インストール時に Web サーバ上で生成されます (アップグレード時にはこの証明書が移行されます)。



(注) ホスト名を使って Web アプリケーションにアクセスし、信頼できるフォルダに証明書をインストールした後、ローカルホストまたは IP アドレスを使ってそのアプリケーションにアクセスしようとすると、セキュリティ証明書の名前とサイトの名前が一致しないことを示す [セキュリティの警告] ダイアログボックスが表示されます。

ローカルホスト、IP アドレス、またはホスト名を URL を使って HTTPS 対応アプリケーションにアクセスする場合、URL の種類 (ローカルホスト、IP アドレスなど) ごとに信頼できるフォルダに証明書を保存する必要があります。このようにしないと、それぞれの種類で [セキュリティの警告] ダイアログボックスが表示されます。

Cisco Unified Presence Server の管理ページにおける Internet Explorer および HTTPS の使用

ここでは、信頼できるフォルダに CA のルート証明書を保存する方法について説明します。この操作により、Web アプリケーションへアクセスするたびに [セキュリティの警告] ダイアログボックスが表示されなくなります。ブラウザクライアントから、Cisco Unified Presence Server の管理ページへ初めてアクセスする、または Cisco Unified CallManager 5.0 のインストール/アップグレード後初めてその他の Cisco Unified CallManager の SSL 対応仮想ディレクトリへアクセスする場合、サーバを信頼するかどうかを確認するために、[セキュリティの警告] ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスが表示された場合、次のいずれかのタスクを実行する必要があります。

- [はい] をクリックすると、現在の Web セッションの間に限り証明書を信頼することになります。現在のセッションに限り証明書を信頼する場合、アプリケーションにアクセスするたびに [セキュリティの警告] ダイアログボックスが表示されます。つまり、信頼できるフォルダに証明書をインストールするまでこのダイアログボックスが表示されるということです。
- [証明書の表示]、[証明書のインストール] をクリックして、証明書のインストールのタスクを実行し、証明書を常に信頼することを示します。証明書を信頼できるフォルダにインストールすると、Web アプリケーションへアクセスするたびに [セキュリティの警告] ダイアログボックスが表示されることがなくなります。
- [いいえ] をクリックすると、作業がキャンセルされます。認証が行われないため、Web アプリケーションにアクセスできません。Web アプリケーションにアクセスするには、[はい] をクリックするか、または [証明書の表示]、[証明書のインストール] をクリックして証明書をインストールする必要があります。

[セキュリティの警告] ダイアログボックスで実行できるその他の作業については、『Cisco Unified CallManager セキュリティ ガイド』を参照してください。

手順

- ステップ 1** Web サーバのアプリケーションを参照します。
- ステップ 2** [セキュリティの警告] ダイアログボックスが表示されたら、[証明書の表示] をクリックします。
- ステップ 3** [証明書] ペインで [証明書のインストール] をクリックします。
- ステップ 4** [次へ] をクリックします。
- ステップ 5** [証明書をすべて次のストアに配置する] オプション ボタンをクリックし、[参照] をクリックします。
- ステップ 6** [信頼されたルート証明機関] を参照します。
- ステップ 7** [次へ] をクリックします。
- ステップ 8** [完了] をクリックします。
- ステップ 9** 証明書をインストールするには、[はい] をクリックします。

インポートの完了を示すメッセージが表示されます。OK をクリックします。
- ステップ 10** ダイアログボックスの右下にある OK をクリックします。

ステップ 11 証明書を信頼し、再度ダイアログボックスを表示させないようにするには、**[はい]** をクリックします。



(注) ローカルホスト、IP アドレス、またはホスト名を URL で使って HTTPS 対応アプリケーションにアクセスする場合、URL の種類（ローカルホスト、IP アドレスなど）ごとに信頼できるフォルダに証明書を保存する必要があります。このようにしないと、それぞれの種類で **[セキュリティの警告]** ダイアログボックスが表示されます。

追加情報

P.1-11 の「[関連項目](#)」を参照してください。

Cisco Unified Presence Server の管理ページにおける Netscape および HTTPS の使用

Netscape で HTTPS を使用する場合、証明書の資格情報を表示する、証明書を 1 回のセッションに限り信頼する、有効期間中証明書を信頼する、証明書を信頼しないなどの選択が可能です。



ヒント

単独セッションに限り証明書を信頼する場合、HTTPS 対応アプリケーションにアクセスするたびに、次の手順を繰り返す必要があります。証明書を信頼しない場合、アプリケーションにアクセスできません。

証明書を信頼できるフォルダへ保存するには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1 Cisco Unified Presence Server の管理ページなど、アプリケーションを Netscape を使って参照します。

認証局のダイアログボックスが表示されます。

ステップ 2 次のいずれかのオプション ボタンをクリックします。

- この証明書をこのセッションのために一時的に受け入れる
- この証明書を受け入れない / この Web サイトに接続しない
- この証明書を永続的に受け入れる



(注) 証明書を受け入れないオプションを選択した場合、アプリケーションが表示されません。



(注) 証明書の資格情報を表示してから続行する場合、**[証明書を調査]** をクリックします。資格情報を確認し、**[閉じる]** をクリックします。

ステップ 3 OK をクリックします。

[セキュリティの警告] ダイアログボックスが表示されます。

ステップ 4 OK をクリックします。

追加情報

P.1-11 の「[関連項目](#)」を参照してください。

Cisco Unified Presence Server の管理アプリケーションのナビゲート

ログイン後、[Cisco Unified Presence Server の管理] のメインウィンドウが表示されます。このウィンドウの右上隅に、[ナビゲーション] というドロップダウン リストが表示されます (図 1-1 を参照してください)。ドロップダウン リスト ボックスにあるアプリケーションへアクセスするには、目的のプログラムを選択して [移動] をクリックします。ドロップダウン リスト ボックスの選択肢には、次の Cisco Unified Presence Server アプリケーションが含まれています。

- Cisco Unified Presence Server の管理 : Cisco Unified Presence Server へアクセスすると、デフォルトが表示されます。Cisco Unified Presence Server の管理ページを使用して、システムのパラメータ、アプリケーションなどを設定します。
- Cisco Unified Presence Server のサービスアビリティ : トレース ファイルおよびアラームの設定やサービスの有効化 / 無効化などに使用する Cisco Unified Presence Server Serviceability メインウィンドウに移動します。
- 障害復旧システム : Cisco 障害復旧システムへ移動します。このプログラムは、データのフルバックアップおよび復元機能を、Cisco Unified Presence Server クラスタ内のすべてのサーバに提供します。
- Cisco Unified OS の管理 : [ログイン] ウィンドウへ移動します。このアプリケーションを使用して、Cisco Unified Presence Server プラットフォームを設定し、管理できます。

図 1-1 Cisco Unified Presence Server の管理ページのナビゲーション



これらのアプリケーションは、追加のセキュリティで保護されているため、これらのプログラムへアクセスするには、ユーザ ID とパスワードを入力する必要があります。

追加情報

P.1-11 の「関連項目」を参照してください。

アクセシビリティ

Cisco Unified Presence Server の管理ページおよび Cisco Unified Presence Server ユーザ オプション ページでは、ユーザがマウスを使わずにウィンドウでボタンにアクセスできる機能が提供されています。ウィンドウの任意の場所から次の手順を実行できるため、ユーザはさまざまなフィールドでのスクロールやタブなどの操作が不要になります。

ウィンドウ内でのアイコンへのアクセス

Cisco Unified Presence Server および Cisco PCA のウィンドウの多くでは、保存するディスクのアイコンや追加を示すプラス (+) 記号のアイコンなどが上部に表示されています。これらのアイコンへアクセスするには、次の手順を実行します。

1. **Alt** キー、**1** キー、**Tab** キーの順に押します。カーソルにより一番左側のアイコンが強調表示されます。次のアイコンへ移動するには、再度 **Tab** キーを押します。
2. **Enter** キーを押します。アイコンの機能（追加など）が実行されます。

ウィンドウ内でのボタンへのアクセス

Cisco Unified Presence Server および Cisco PCA のウィンドウの多くでは、[保存] ボタンや [追加] ボタンなどが下部に表示されています。これらのボタンへアクセスするには、次の手順を実行します。

1. **Alt** キー、**2** キー、**Tab** キーの順に押します。カーソルにより一番左側のボタンが強調表示されます。次のボタンへ移動するには、再度 **Tab** キーを押します。
2. **Enter** キーを押します。ボタンの機能（保存など）が実行されます。

参考情報

- *Cisco Unified CallManager システム ガイド*
- *Cisco Unified CallManager 機能およびサービス ガイド*
- *Cisco Unified CallManager Serviceability システム ガイド*
- *Cisco Unified CallManager Serviceability アドミニストレーション ガイド*
- *Cisco CDR Analysis and Reporting Administration Guide*
- *Cisco IP テレフォニー ソリューション リファレンス ネットワーク デザイン ガイド*
- *Cisco Unified Presence Server インストレーション ガイド Release 5.0(1)*
- *Cisco Unified CallManager セキュリティ ガイド 5.0*
- *Cisco IP Telephony Platform Administration Guide*
- *Cisco IP Telephony Disaster Recovery System Administration Guide*

関連項目

- [Cisco Unified Presence Server の管理ページの参照 \(P.1-5\)](#)
- [Cisco Unified Presence Server の管理ページにおける Internet Explorer および HTTPS の使用 \(P.1-7\)](#)
- [Hypertext Transfer Protocol Over Secure Sockets Layer \(HTTPS\) \(P.1-6\)](#)
- [Cisco Unified Presence Server の管理アプリケーションのナビゲート \(P.1-10\)](#)
- [アクセシビリティ \(P.1-11\)](#)
- [参考情報 \(P.1-11\)](#)

